

梅雨



雨が続くこの季節は、気分も下がりがちですが、雨音に耳を澄ましたり雨特有のニオイを、雨にぬれたアジサイの鮮やかさに心を向けてみたり、探求心旺盛な子どもたちは登園自粛期間を過ぎても元気いっぱいです。栽培している野菜や小動物たちにも、水がたくさん必要です。

生けるものすべてにとって、命ともいえる大切な水。集中豪雨の警報など発令されると怖い水にもなりますが、自然の恵みに感謝しながら梅雨期ならではのあそびを展開していこうと思います。



探求心

大人の手のひらくらいの大きさのクモに「足が6本?7本?違う8本よ」「毒グモ?」「タランチュラはもっとでっかいよ」「筋トレしよる」と、子どものつぶやきが聞かれました。

子どもが捕まえたクワガタには「お腹へっとる」「寝とるのに起こしたらかわいそうよ」と。保護者も「うわっ」「でっかい」「気持ち悪い」「すごい」と関心をもって見ていただきました。子どもたちの関心が保護者の皆様へとつながり親子での会話の広がりになることが子どもたちにとっては次の探求心になることと思います。また、話を聞いてうなずいてもらえることが子どもの自己肯定感を高めていくことでしょ。



令和2年 6月の保育園だより

坂みみょう保育園

登園自粛要請へのご協力、ありがとうございました。登園人数は多くなかったもの子どもたちは元気に過ごしていましたよ。

園庭にバンブーハウスがお目見えしました。地域のおじちゃんたちが山で竹を切り倒し、長さを切り揃えてくださったもので、その数、合計で60本以上にもなります。有難いつながりに感謝の気持ちでいっぱいです。

竹を使って「おうち、つくりたい」という子どもの声を受け、とこ先生こと造形研修講師の戸川先生をはじめ訪問されていた姉妹園の先生たちの力も借り、設計図を基にイメージを共有し合いながら作られていきました。それを見ていた子どもは「先生、何しよるん?」「何で耳に鉛筆やとるん?」「これ何?どうやって使うん?」等、新たな発見、興味、好奇心でいっぱいでした。

遊び始めると、ピョンピョン飛んでも折れずにしなる竹の特徴を、子どもが味わっていることや、どうみても握るには太すぎる竹を自分で力加減をして前回りや逆上がりをしたり、一番高いところの竹にバランスをとってまたがる等、自分で考えながら遊んでいる姿が見られました。それを見ている年中さんも挑戦しようと思っているかもしれませんね。

さて、しばらく保育園をお休みされ、ご家庭で過ごされた保護者の皆様や子どもたちは、久しぶりの登園に心配や不安な思いをされていることと思います。各クラスともに、しばらくは4月当初のように生活の見直しをしながら、一人ひとり丁寧に関わっていきたく思っています。不安なことや分かりづらいことは何でも職員にお尋ねください。

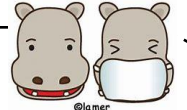
今後の保育についてですがコロナウィルス感染予防対策のため、行事についても中止や延期で、ご心配をおかけしております。本来ならば6月に開催する運動会は、5月の行事予定でお知らせしました通り、10月に延期し子どもの成長をご覧いただくとともに、保護者の方々も体を動かすことが楽しいと感じる一日となるよう内容を工夫していきます。7月のお泊り保育ですが、現在予定している広島市野外活動センターは施設の利用を制限されているため場所の変更も含め検討している段階です。またプールあそびは、人数や時間、水の使い方等に十分配慮しながら開放感や夏ならではの経験を楽しみたいと思っています。10月に予定しているアートな生活とあそび展は子ども一人ひとりあるいは友だちといっしょに、更には異年齢で興味をもっているあそびを、保護者の方と楽しんでいけたらと計画しております。

何をどのように工夫したら今よりもっと楽しくなるのか、考えることにワクワクしながら子どもと対話を重ね、新しいことをいっしょに生み出していこうと思っています。

コロナウィルス感染第二波に加え、今春大きな流行を見せなかったインフルエンザ感染も心配される秋を迎えることが予想されますが、昨今の異例の状況にバンブーハウス同様、さまざまな社会的資源との対話を積み重ねながら、地域や保護者の皆様の巻き込みながら状況判断し、今年度の運営方針である「子どもも保育者や保護者にも楽しい保育」へ、竹のようなしなやかなしなりをもち目指していきたいと思っています。

主任保育士 徳川 由紀

熱中症対策



本年は、春季に多くの方が外出自粛から、汗をかいていない、運動をしていない傾向にあり、暑熱馴化（身体の機能に暑さに慣れて、汗をかいて体温を下げる等の対処ができること）ができていなく、筋肉量が減っています。筋肉量が少ないということは保持できる水分量が少ないということ、すなわち脱水になりやすいともいえます。

常にマスクをしたままの人であれば、口喝の鈍化（マスク内の湿度が上がってきていることで喉の渇きを感じづらくなる）傾向にある可能性もあります。

マスクを外してはいけないという思いがあり、気づかないうちに水分補給を避けてしまうことも脱水の一因になりえます。熱中症対策同様、こまめな水分補給をしていきましょう。

—ブレリリリース配信サービス抜粋—

年長の保護者の皆様へ

- 7月3日（金）・4日（土）に予定しているお泊り保育はコロナウィルス感染予防対策のため、日にち・場所ともに変更があるかもしれません。
- 決定した場合は6/19（金）の夕方、お泊り保育説明会を開催する予定です。
- はっきり決まり次第お伝えします。

